

“ふるさとを愛し、夢に向かって たくましく生きる子ども”



廣野っ子



酒田市立広野小学校便り

令和3年1月15日

3学期が始まりました。

1月6日、3学期の始業式を行いました。コロナウイルス感染の拡大を受けて、短時間で距離をとっての開催となりましたが、児童は新しい年にふさわしい凛とした姿勢で式に臨むことができました。今年度は1学期の開始が遅かったこともあり、校長が児童全員に話をする機会がとても少ないため、始業式は、私が思っていることを伝える貴重な場面となりました。そのときにお話しした内容を下に掲載します。(写真は1月7日に行った書初め大会の様子です)

11日間の冬休みが終わって、3学期が始まりました。今年もどうぞよろしくお祈りします。どんな冬休みでしたか。3学期に向けて、力を蓄えることは

できましたか。3学期は今年度のまとめの学期でもあり、来年度、次のステージに向けて飛躍するための0学期でもあります。充実した時間を過ごしたいですね。

さて、3学期の広野小学校のテーマは「感謝」です。1年間の成長を感謝する時期ということですね。感謝するには必ず相手が必要です。人に対する感謝はもちろんですが、その人がしてくれたことや、場所やものに対する感謝も考えられます。感謝の気持ちははっきりと表

さないとなかなか伝わらないものです。気持ちを態度に表して表現することは、みなさんにしっかりと身につけてほしいことのひとつです。そのために、お礼を言う、あいさつをする、返事をする、こういった当たり前のことにしっかりと取り組んでいきましょう。「もうやっていますよ」「すでにできていますよ」という人も今一度自分の行動を振り返ってみてください。今朝、すでにたくさんの人に出会っていると思います。友だちに、地域の人たちに、先生方に、あいさつは気持ちが伝わるようにできていましたか。冬休み中、おうち

の人や親せきの方に何かをしてもらったこともあったと思いますが、感謝の気持ちはわかるように伝えましたか。当たり前と思いながら、実はできていなかったということはありませんか。

当たり前のことをしっかりと行うことを「凡事徹底」といいます。聞いたことはありますか。英語では”Do all the common tasks properly.”というそうです。3学期は凡事徹底に取り組んでみませんか。皆さんの1日の生活を朝起き



た時から夜寝る時まで思い浮かべてみましょう。できていて当たり前のことなのに、実際にはできていないことはありませんか。自分の機嫌がよくなかったからあいさつをしなかったり、ちょっと面倒くさかったからやらなければならないことをやらなかったりということはありませんか。心当たりがある人は少なくないかもしれません。私もふりかえってみると自信がありません。でも、凡事、つまり当たり前のことこそが、感謝を伝えるためや社会をよくするためには重要なのです。あいさつや感謝の言葉は人と人をつなぐものだし、一人一人がやらなければならないことをしっかりとやり遂げるから世の中はうまくいくのです。だから、当たり前のことができるように今まで以上に意識してほしいのです。凡事徹底は実はとても難しいことですが、だからこそチャレンジしてほしいと思います。



ところで、私の目標は「小さな学校から世界を変える」ということです。私が考える世界を変えるとは、大袈裟なことではありません。一人一人が当たり前のことを当たり前に行うことができるようになって、自分を良い方向に持っていくことで少しずつ世界は変わるといことです。例えばSDGsにしても、世界のことを知って、そのために自分には今何ができるかを考え、世界を変えるための行動を当たり前に行う

ことから始まります。実際に6年生を中心に広野小学校でも既に取り組んでいることがありますね。世の中全体で最近特に重要視されていること、例えばごみを分別すること、マイバッグを持参すること、物を大切に使うこと、食べ物を無駄にしないことなど、これらは考えてみれば当たり前のことなのです。また、伝わるようにあいさつや感謝の言葉を口にするのは、SDGsの目標17番のパートナーシップにつながり、世界を変える原動力になります。そう考えれば、凡事徹底をすることで世界を変えることができると思うのです。広野小学校は人数が少ない学校です。人数が少ないからこそ、全員が凡事徹底を理解して、声を掛け合って取り組むことで世界を変えることを達成することができるのではないのでしょうか。



そしてもう一つ、コロナの影響がいまだに収まらない状況ですが、登校のときからマスクをきちんと着けること、手洗い消毒をしっかりと行うことも凡事徹底です。さらに今は感染者の広がりが続いている時期なので、マスクをしていても友だち同士で頭を近づけておはなしをしたり、体をくっつけておしゃべりをしたりしないなどというのも当たり前のことに入ると思います。授業中は先生が声をかけてくれると思いますが、休み時間など先生がいないときもお互いに注意できるようになるといいですね。また、医療にかかわる方々に感謝の気持ちを表すことも考えられます。これもまた凡事徹底だし、感染を予防する手立てをみんなが徹底することでコロナが収束していけば、それもまた世界を変えることですね。

3学期は49日間。2学期の半分くらいしかありません。やろうと思ったことを先延ばしにするとすぐに終わってしまいます。どうぞ自分がやりたいと思ったことにはすぐに取り組んで、充実した学期にしていきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。